



令和8年度転入学校教職員宣誓式 自然と人びとに恵まれた長島で

4月10日、町内の小中学校に転入してきた教職員を対象に令和8年度転入学校教職員宣誓式が、指江支所大ホールで行われました。

今年度新たに42人の教職員が小中学校に転入し、代表して鷹巣小学校の小野颯士朗教諭（写真）が「職務と責任を自覚し、誠実かつ構成に職務を執行します」と宣誓。蔵之元小学校の朝倉寛校長は「豊かな自然と暖かい人に恵まれ、地域と共に子どもたちを育てる教育が大切にされていると聞く。この教育力を受け止め、現場に積極的に生かしていく」とあいさつしました。



町内の小中学校入学式 楽しみがいっぱい

4月9日、町内の小学校7校と中学校5校で入学式がありました。令和8年度の新入生は、小学生80人、中学生94人の計174人です。伊唐小学校（向井理恵子校長・17人）では、保護者らが見守る中、3人が入学しました。向井校長は「いから」にちなんで「『い』つもえがおで、『か』かわりあい、じぶん『ら』しく成長しましょう」と新入生を歓迎しました。双子で入学した丸橋侑生さんと和生さんは「外で遊ぶのが楽しみ」「算数を勉強するのが楽しみ」とそれぞれ笑顔で話しました。



出水電気工事工業協同組合、清掃ボラティア 暮らしの安心安全を

4月16日、出水電気工事工業協同組合（岩崎憲二理事長）が春の交通安全運動にあわせて交通安全の一助を目的とした、信号機清掃ボラティアを本町と出水市、阿久根市で実施しました。

同組合に所属する町内3社が指江と平尾、鷹巣の計3カ所の歩行者信号機を丁寧に磨き上げました。

ボラティアに参加した塚田裕二班長は「電気工事をおして住民の暮らしの安心安全を守っていけたら」と話しました。



蔵之元小学校でヒラメ稚魚放流 元気に育ってほしい

4月14日、蔵之元小学校（朝倉寛校長・35人）の児童が、北さつま漁協や県、町の協力のもと、ヒラメの稚魚を小浜港へ放流しました。児童らは、ヒラメの生体についての話を聞いた後、約7センチ、子どもの手のひらサイズの稚魚2万3千匹を海へ放ち、寄せては引く波に四苦八苦する稚魚を優しく沖へと導きました。

初めてヒラメの稚魚の放流を行った石橋心陽さん（1年）は「元気に育ってほしい。大きくなったら会ってみたい」とうれしそうに話しました。